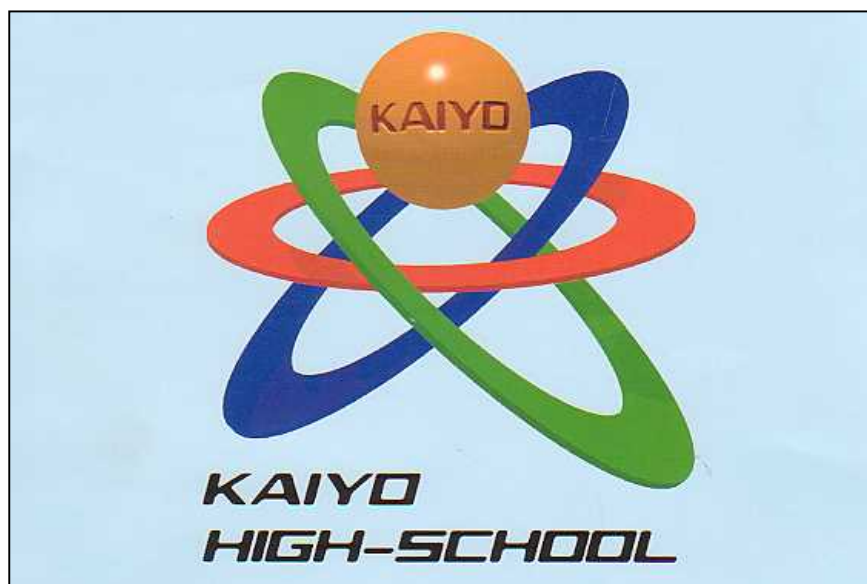


令和3年

「夢・実現」への羅針盤



鹿児島県立開陽高等学校
全日制課程進路指導部編

全 体 目 次

Ⅰ はじめに

Ⅰ 進学編

1 大学入試のしくみ

- (1) 大学入学共通テストの概要 1
- (2) 国公立大学 2
- (3) 私立大学 3
- (4) 短期大学 3

(付録) 卒業年次生年間学習プラン 4

2a 大学入試センター試験概要 6

2b 大学入学共通テスト試験概要 7

3 推薦入試について

- (1) 学校推薦型選抜（一般公募入試制推薦） 8
- (2) 学校推薦型選抜（指定校推薦） 8
- (3) 特別推薦 8
- (4) 推薦入試の選考方法 8

4 本校における推薦入試規定

- (1) 推薦入学に関する規定(大学・短大・専門学校) 9
- (2) 推薦入試希望者への注意事項 9
- (3) 推薦入試の流れ 10

5 総合型選抜入試について 11

6 大学・短大で取得可能な免許・資格の例

- (1) 大学で取得可能な免許・資格など 12
- (2) 短期大学で取得可能な免許・資格など 13

7 大学・短期大学の学費等について 14

8 専門学校について

- (1) はじめに～専門学校を考えるにあたって 15
- (2) 専修学校と各種学校 15
- (3) 資格取得と就職状況について 15
- (4) 学費について 16
- (5) 入学選考について 16
- (6) 専門学校入試の流れについて 17

9 模試の受け方について

(付録) 進学のための「志望理由書」の書き方 19

Ⅱ 就職編

- 1 就職への心構え 33
 - 2 就職試験に関する流れ 35
 - 3 高卒用求人票の見方 36
 - 4 履歴書の書き方 38
 - 5 就職試験について 43
 - 6 進路保障について 46
 - 7 受験の心得 48
 - 8 受験報告について 49
 - 9 採用内定企業へのお礼状 49
 - 10 赴任準備について 51
 - 11 社会人としてのマナー 51
 - 12 公務員希望者のために 52
- (付録) 履歴書「志望の動機」の書き方 . . . 55

Ⅲ 試験編

1 面接試験について

- (1) 身だしなみについて 64
 - (2) 正しいおじぎの仕方 65
 - (3) 面接試験の流れとマナー 66
- (参考) 面接シミュレーション・シート . . . 67
- (付録) 就職のための「面接」 69
- (付録) 進学のための「面接」 86
- (付録) 学校推薦選抜「面接実例」

1 大学入試のしくみ

(1) 大学入学共通テストの概要

毎年1月第3週の土・日曜日に、2日間にわたって全国一斉に実施される共通テストである。国公立大学を志願する者は全員が受験しなければならない。また私立大学や一部の短期大学の入試においてもこのテストを利用する大学・学部が年々増加してきており、大学・短大を受験する者にとっては極めて重要なテストである。また、ここ数年ほとんどの国公立大学では5教科7科目が定着してきている。各大学・学部ごとに異なる場合もあるので、自分の志望校の求める教科・科目についてはきちんと確認しておきたい。

ア 国立大学入学共通テスト5教科7科目実施の状況について

国立大学協会は「国立大学志願者（一般選抜）については、原則として共通テスト5教科7科目の受験を課するべきである。」との提言を受け、各国立及び公立大学では文系・理系、以下のようなパターンでの共通テスト科目を実施している。

文系型 外国語1，国語1，地歴・公民2，数学2，理科1

理系型 外国語1，国語1，地歴・公民1，数学2，理科2 (※数字は科目数)

(※ 外国語の英語は、リーディングとリスニングを出題する。また、理科基礎2科目は理科専門科目1科目とみなす。理系の受験者で、理科の基礎2科目＋専門科目1科目で受験する場合、科目の重複[例：物理基礎と物理の受験]が不可な場合がほとんどなので、志望校の募集要項できちんと確認することが必要である。)

融合型 外国語1，国語1，(地歴・公民2，数学2，理科2から3科目選択)

(※ 国公立大学の教育学部等に多い。)

教育学部の例： 熊本大学，宮崎大学：地歴・公民，理科から3科目選択
鹿兒島大学(文系)：数学，理科から3科目地歴・選択)

毎年課される教科が変わることもあり、大学の学部・学科によって異なるので、各年度ごとに募集要項できちんと確認する必要がある。学部・学科によっては、特に公民や理科の受験科目を限定している大学もあるので注意が必要である。

イ 出題形式はマークシート方式、出題内容は教科書レベルの標準問題

共通テストは高等学校の段階における基礎的な学習の到達度を判定するマークシート方式の試験である。そのため、出題される問題も教科書レベルの基礎的なものになっている。

マークシート方式は解答番号欄を鉛筆で塗りつぶして解答し、採点をコンピュータで行う方式である。多くのデータを短時間で処理するのでこの方式をとっている。怖いところは答えが合っているにもかかわらず塗り方を間違えたり、塗りつぶす解答番号を間違えたりすると不正解となる。この方式に慣れるためには十分な訓練が必要である。

共通テストには6教科30科目が用意され、この科目のうちどの科目を課すか、配点をどのようにするかは各大学・学部が決めるシステムになっており、志望大学の入試科目を十分把握しておかなければならない。(右図自己採点後の選択)

	5つの選択肢	メリット	デメリット
①	諦めずに第1志望の国公立大学に出願してみる	第1志望に挑戦できる	国公立大学合格の可能性はやや厳しくなる
②	出願する国公立大学のレベルを調整する	合格の確率を上げることができる	第1志望は諦めることになる
③	本命を私立大学に切り替える	合格の確率を上げることができる	第1志望は諦めることになる/金銭面での支出は大きくなる
④	諦めて浪人する	第1志望を改めて目指せる	1年の時間と費用がかかる
⑤	専門学校から編入学を目指す	第1志望を改めて目指せる	編入学ができないorしにくい大学がある

ウ 自己採点の結果によって受験大学の変更も可能

共通テストの解答は翌日公表される。配点等も発表されるので受験生は試験中に問題用紙に控えておいた答えを採点し、自分の得点状況を調べる。大学入学共通テストは個々の試験結果を受験生に通知しないので、自己採点が試験の得点を知る唯一の手段となる。(ただし試験後において、得点開示が行われるようになり、開示を希望した受験生には、5月に個人宛で得点が開示される。)試験結果は大学入試センターから志願した各大学に送られ、個別学力検査の得点と合わせて合否が判定される。

国公立大学では共通テストの自己採点結果を見てから個別学力検査に出願する。試験の得点次第では志望校を変更することもあり得る。自己採点結果に基づいて作成された合否判定資料で自分のポジションを把握することができる。予定した大学とは別の大学に出願し、受験することもできる。ただし、共通テスト終了後、出願締切まで約2週間しかないので注意が必要である。

(2) 国公立大学

ア 国公立大学個別学力検査のしくみ

国公立大学の個別学力検査は原則として前期日程試験と後期日程試験の2回に分けて行われる。公立大学の一部には、中期日程試験を設けて試験を行う大学もある。(下記参照)

大学受験の組み合わせには一般に前期日程+公立中期日程+後期日程と出願できる。ただし、前期日程試験に合格し、入学手続きをした者は、中期日程・後期日程試験を受験しても合格できない。したがって第1希望は前期日程試験の大学・学部を設定するのが基本である。また中期日程・後期日程は両方の受験が可能であり、共に受験して合格した場合はいずれかを選ぶことができる。

募集人員の割合は、前期 80%、後期 18%、中期 2%(一部公立大のみで実施)で圧倒的に前期が多く、後期日程は2次募集的意味合いが強い。また前期のみ、あるいは後期のみで実施する学部もある。近年は、旧帝大や医学部を中心に後期日程を廃止・縮小する大学が増えている。

【公立中期日程を実施する大学()は学部名】

都留文科大(文、教養)、高崎経済大(経済)、長野大(社会福祉、企業情報、環境ツーリズム)、長野県立大(グローバルマネジメント、健康発達)、長岡造形大(造形)、奈良県立大(地域創造)、新見公立大(健康科)、下関市立大(経済)、金沢美術工芸大(美術工芸)、秋田公立美術大(美術)、釧路公立大(経済)、名古屋市立大(薬)、大阪府立大(工)、兵庫県立第(理)、岐阜薬科大(薬)、静岡県立大(薬)、市立山口東京理科大(薬、工)、兵庫県立大(社会情報)、公立諏訪東京理科大(工)、岡山県立大(情報工)、公立小松大学(国際文化交流、生物システム科、保健医療)、公立千歳科学技術大学(理工)

【旧帝国大学で後期日程を実施する大学()は学部名】

北海道大(理、工、農、薬、歯、医・医医・保(一部専攻)、九州大(理(数学科以外の学科))
東北大(理学部、数学系、物理系、化学系、地球科学系、生物系)、名古屋大(医・医)、

*このように難関大学の後期試験の廃止の影響もあり中期試験は難化傾向にある。

イ 前期および後期日程の個別学力検査における教科・科目

前期日程試験の個別学力検査の実施科目は各大学・学部・学科により異なる。文系は国語・数学・英語・地歴から、理系は数学・理科(物理・化学・生物)・外国語から出題する大学が多い。難関系大学は上記の全科目を、他の大学は2教科ほど選択させて出題している。(※ 近年、理系で工

学部系を中心に、英語を課す3教科が主流になってきている学部学科が多いので募集要項できちんと確認する必要がある。) 出題形式は、共通テストのマーク式に対して、記述式が多い。

後期日程は前期日程に比べて教科・科目が少なく、1～2教科が主である。また小論文を実施している大学も多い。

(3) 私立大学

ア 共通テスト利用の私立大学は年々増加傾向 (近年は微増)

私立4年制大学 (令和3年度, 平成30年度, 平成23年度を例に)

令和3年度・・・534大学	平成30年度・・・526大学	平成23年度・・・504大学
---------------	----------------	----------------

イ 私立大学の受験

文系型は (国, 英, 数または地歴・公民), 理系型は (英, 数, 理) が主流である。ただし, 私立大学の入試方式は年々多様化しており, その方式を知ることによって受験の機会も増えるし, 自分にあつた方式で見つけることが重要となる。入試科目・配点を早い時期に知って学習対策をすることが大切である。

● 公募制 (一般入試の分類)

○ 本試験・前期 (1期募集) のみ実施

- 複線入試の実施
 - 本試験・前期 (1期募集) : 3教科実施が主流
 - 大学入学共通テスト利用 (2科目から3科目選択が主流)
 - 少数科目入試 (1～2科目)
 - 小論文入試 (面接)

○ 後期試験 (2期募集) : 定員補充のために, 多くは3月初旬に実施される。

- その他
 - ・ 試験日自由選択制 : 同一学部・同一学科の試験日を2日以上設定
 - ・ 得意科目重視型入試 : 申請した得意科目の配点に倍率を掛け評価
 - ・ 地方試験 : 各地方で本学日程とは別に入試を実施 (定員も別定員)

※ 私立大学の一般入試では, 国公立大学と異なり, 複数受験が可能である。募集要項で各大学の受験科目, 日程, 会場を確認し, 受験可能な大学のスケジュールを作成する必要がある。また, 出願の際は, 模擬試験の結果を参考に「チャレンジ圏大学」, 「合格可能圏大学」, 「合格確実圏大学」を選んで出願するのが一般的である。

● 推薦入試

- 学校推薦型選抜・・・ 8, 9 ページ参照
- 総合型選抜 …… 11 ページ参照

(4) 短期大学 (公立・私立短期大学で, 共通テストを利用する試験を課す短期大学)

令和3年度	公立短期大学数・・・13	私立短期大学数・・・142
-------	--------------	---------------

< 大学入学共通テスト利用短期大学の一例 >

● 鹿児島県立短期大学

- 文学科 (国・地公・英[英文のみリスを含む]の3科目, 個別試験は国語[日文], 英語[英文])
- 生活科学科 (国・英[リスを含む]・地公または数または理から1科目の3科目, 食物栄養専攻は地公からは選択できない。個別試験は食物栄養専攻が総合問題, 生活科学専攻は面接)
- 商経学科 (国・外[英はリスを含まない]・地公または数から1科目の3科目, 個別試験は総合問題)

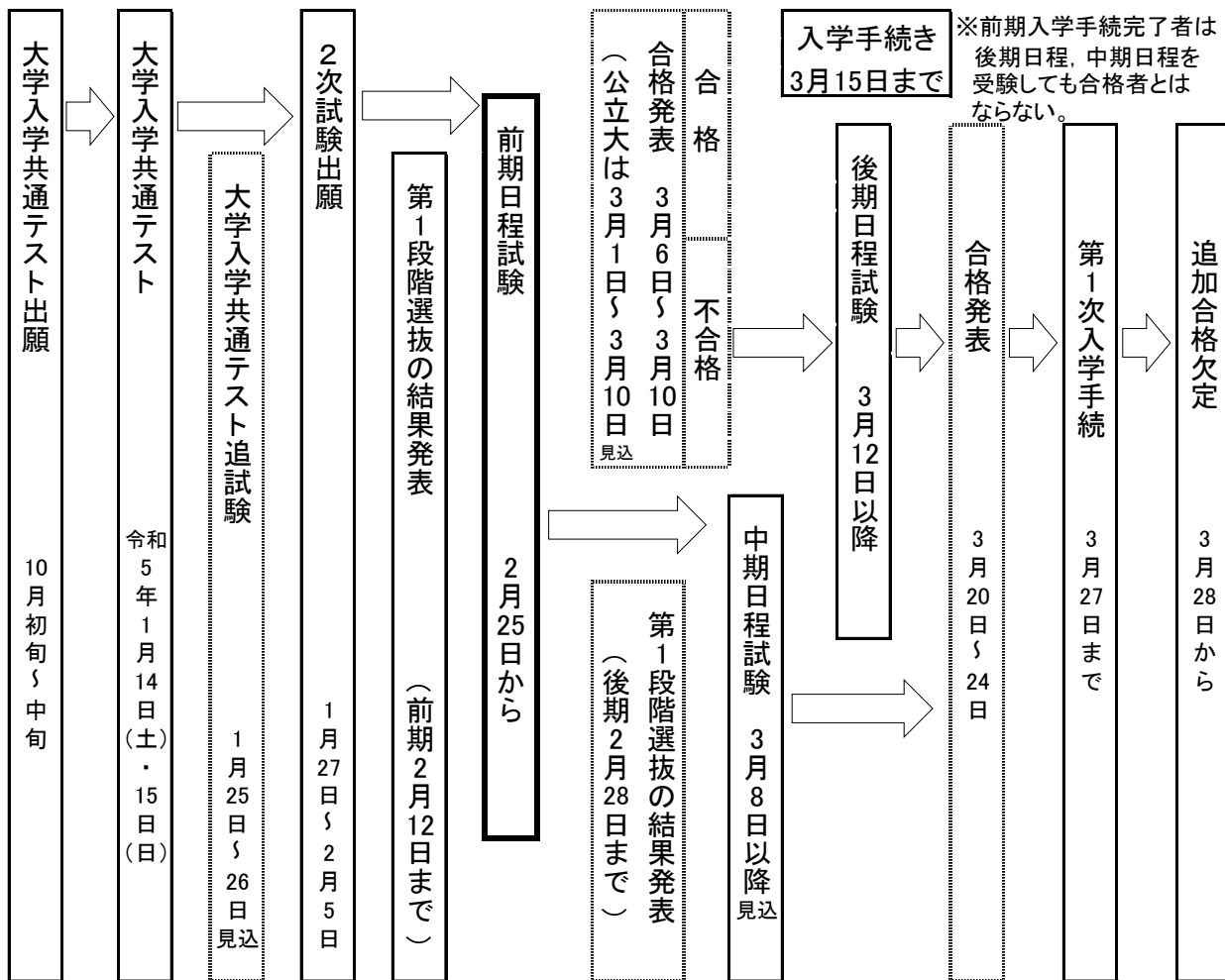
卒業年次生年間学習プラン

月	学期	行事	模試	リズム	内 容	進路行事
3	後期	卒業式 高校入試 春季休業		0 期 リ ズ ム 確 立 期	<p style="text-align: center;">1年間の勝負を決定する時期</p> <p>① 春期休集中のこの時期は重要 ② 目標決定の時期 ③ 1日も早い取り組みが意識を高める ④ 受験勉強の始まりの時期 ⑤ 中間年次までの総復習の時期</p>	卒業生合格発表 自宅学習期間
4 5	前期	始業式 教育相談 中間考査	【進学希望者】 4月記述模試 (看護・医療系模試) 【就職希望者】 就職模試 公務員模試	1 期 基 礎 力 充 実 期	<p style="text-align: center;">合格に向けて卒年次始動</p> <p>① 受験勉強本格スタート ② 志望校群の決定 ● 「大学・学部・学科」の設定 ● 「入試科目・配点」の確認 I. 学習時間帯・学習量の定着 II. 対外模試を利用した学習 III. 学習の重点 * 文系: 国・英の強化+地歴公民を軸 * 理系: 英・数・理2科目の強化 ③ 学習計画を立てる ④ 基礎力完成を目指す</p>	志望大学調査 三者面談 (朝自習) 個別指導開始
6 7 8		オープン キャンパス	【進学希望者】 6月マーク模試 6月実力診断テスト 7月記述模試 東進模試 【就職希望者】 SPI対策模試 公務員模試	2 期 基 礎 力 完 成 期 ・ 共 通 テ ス ト 対 策 開 始	<p style="text-align: center;">部活動終了で追い込み</p> <p>① 遅れを取らないよう集中した取り組み ② 最初のマーク模試 ● 自己採点の重要性を知る ● 志望大学の判定が明確に表示される ③ AO・推薦入試のチェック開始</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主要科目(国数英)のほぼ完成の時期</p> <p>① 主要3科目は夏季課外で最終チェック ● 文系: 国・英は量質ともに難易度アップ ● 理系: 英・数は2次力に対応できる実力の養成</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">志望校の具体的な絞り込み</p> <p>① 主要科目の再チェック ② 模試での実力点検 ● 目標大学の共通テスト・2次科目および配点の再チェック ● 模擬試験による自分の学力チェック ● 弱点科目の確認と重点的な学習 ● マークミスチェック</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指定校推薦発表</p>	三者面談 小論文模試 夏季講座
9		期末考査 卒業式	【進学希望者】 9月マーク模試 東進模試	3 期 共 2 通 テ ス ト 養 成 対 応 期	<p>③ 2次力の充実を図る ④ 地歴公民・理科の定着・追い込み ⑤ 全国大学・短大推薦入学年鑑(公募制)発行 [9/1]</p>	大学入学共通テスト 試験校内説明会

卒 業 年 次 生 年 間 学 習 プ ラ ン

月	学期	行事	模試	リズム	内 容	進路行事
10	後期	秋季休業 始業式 入学式 教育相談	【進学希望者】 10月記述模試 11月マーク模試	3期 共通 2次 力 ス テ ス ト 養 成 期 対 応 期	推薦入試要項の取り寄せ	
					志望校群の入学願書の取り寄せ	
11					<ul style="list-style-type: none"> ● 前・後期(・中)の各2～3校程度 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大学入学共通テスト出願[()/()～()/()] <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">推薦入試開始[()/()～] <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実践力を身に付ける <p>① この時期はマーク対策と2次力養成を7:3の割合で学習 ② 各教科の時間配分に注意する ③ 志望大学の過去問の練習と出題傾向の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 過去5年くらいはさかのぼって始める 	
12		卒業考査	【進学希望者】 大学入学共通テストプレテスト	4期 共通 テ ス ト 集 中 期	大学入学共通テスト受験票入手	三者面談
					<p>① ラストスパート＝共通テスト対策に本格的に取り組む ② 最後の1・2ヶ月で実力UP ③ インフルエンザ予防接種</p>	
1			【進学希望者】 大学入学京津テストプレテスト	5期 実 践 対 応 力 完 成 期 (2 次 力 完 成 期)	体調を整える(夜型から朝型へ)	三者面談
					最後の詰め	
2					<ul style="list-style-type: none"> ● プレテスト等の自己採点 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大学入学共通テスト当日[()/()(土)・()/()(日)] <p>① 自己採点[()/()(月)] ② 2次対策開始[()/()()] ③ 出願大学最終決定[()/()()] ④ 各大学へ願書の発送完了 [()/()()～()/()()]</p> <li style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">私大入試開始 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">個別学力試験に向けて全開	
					<ul style="list-style-type: none"> ● 2次試験科目の総点検と過去問の徹底分析 ● 文系: 国・英・地歴公民・(数) ● 理系: 数・理・(英) 	
3		卒業式			前期日程試験開始[()/()()～]	
					<ul style="list-style-type: none"> ● 合格までは学習を続ける <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前期日程合格発表[()/()()～] 中期日程試験開始[()/()()～] <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">後期日程試験開始[()/()()～] <li style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">合格おめでとう! <ul style="list-style-type: none"> ● 入学手続き 	

2a 大学入学共通テスト/個別学力試験 概要



大学入試共通テスト時間割(令和5年1月14日(土)・15日(日)) 各科目の実施日時は見込

期日	出題教科・科目	試験時間
第1日	地理・歴史 「世界史A」, 「世界史B」 「日本史A」, 「日本史B」 「地理A」, 「地理B」	2科目選択 9:30～11:40(130)
	公民 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	1科目選択 10:40～11:40(60)
	国語 『国語』	13:00～14:20(80)
	外国語 『英語』 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』 『韓国語』 『英語リスニング』	15:10～16:30(80) 17:10～18:10(60)
第2日	理科① 「物理基礎」, 「化学基礎」 「生物基礎」, 「地学基礎」	9:30～10:30(60)
	数学① 「数学Ⅰ」『数学Ⅰ・数学A』	11:20～12:30(70)
	数学② 「数学Ⅱ」『数学Ⅱ・数学B』 『工業数理基礎』 『簿記・会計』『情報関係基礎』	13:50～14:50(60)
	理科② 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	2科目選択 15:40～17:50(130) 1科目選択 16:50～17:50(60)

(注)「地歴・歴史」「公民」の2科目選択者、理科②の2科目選択者の途中入退室は不可
※ 詳細については、大学入試センターが発行している「受験案内」を熟読すること。

2b 入試区分・求められる学力の3要素

主に、実施時期の早い順で「総合型選抜入試」「学校推薦型選抜入試」「一般入試」がある。

○ 総合型選抜入試

詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に判定する入試方法。入学志願者自らの意思で出願する公募制試験ともいえる。知識・技能の修得状況に過度に重点を置いた選抜基準としない。

○ 学校推薦型選抜入試

出身高等学校長の推薦に基づき、原則として学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する入試方法。この方法による場合は、高等学校の教科の評定平均値を出願要件などを募集要項で確認しておくこと。

○ 一般入試

調査書の内容、学力検査、小論文、面接、集団討論、プレゼンテーションその他の能力・適性等に関する検査、活動報告書、大学入学希望理由書及び学習計画書、資格・検定試験等の成績、その他大学が適当と認める資料により、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する入試方法。

【2021年度入試からの大学入試選抜の見直し】

各大学の入学者選抜では、「三つの方針」(※1)に基づき「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するものへ改善するための見直しを行っている。主な見直しとして、一部「学力の3要素」が充分評価できていないという声がある課題を克服するため、AO入試、推薦入試では、各大学が実施する評価方法等(例：小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績等)、又は共通テストのうち、少なくともいずれか一つの活用を必須化すること、一般入試では、調査書等の活用方法の募集要項等への明記することとし、いずれも、活用する評価方法や比重について募集要項等で明確化することとしている。

また、丁寧な選抜の実施、高校教育への影響等を考慮し、AO入試、推薦入試の各実施時期や、多面的評価のための重要な資料となる調査書様式の見直しも行うこととしている。

入学者選抜で活用する評価方法(実施時期・内容等を含む。)や比重等については、各大学の募集要項等で明確化することとしている。

(※1について「三つの方針」)

- ① 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)
- ② 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)
- ③ 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

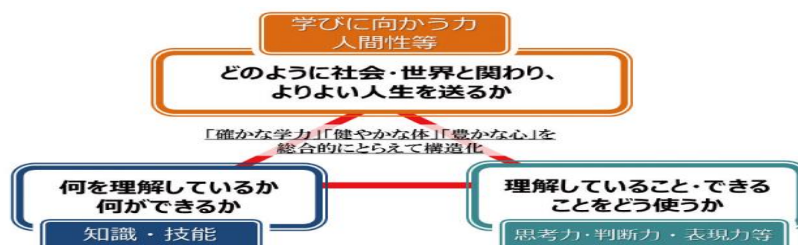
入試区分については、多面的・総合的な評価の観点からの改善を図りつつ、各々の入学者選抜としての特性をより明確にする観点から、次のように変更となった。

- ・「AO入試」<変更前> ⇒ 「総合型選抜」<変更後>
- ・「推薦入試」<変更前> ⇒ 「学校推薦型選抜」<変更後>
- ・「一般入試」<変更前> ⇒ 「一般選抜」<変更後>

【求められる学力の3要素について】

世界が身近になるグローバル化の進行、ICTの普及による大きな社会変化、それに対応して起こる仕事の変化や求める人材の変化というように、これまでとは質的に異なる社会で生活・仕事をしていくことが求められる。

したがって、これまでと同じように「知識・技能」を身に付けるだけでなく、社会環境の変化に対応し、生きていくために必要な「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力・人間性」も求められる。



3 推薦入試について

(1) 学校推薦型選抜（一般公募入試制推薦）

この方式が一番ポピュラーな推薦入試制度です。現在、ほとんどの上級学校で実施しており、定員の10%~30%程度（学校によって格差あり）を推薦で選抜します。

大学・短大・専門学校推薦入試『推薦基準』の一般例
<ul style="list-style-type: none">○ 学校長の承認○ 一定以上の成績（例：学習成績の状況 3.5以上など）○ 入学意志の固い者○ 指定科目が推薦基準値を上回っていること○ 部活動や課外活動に顕著な実績がある者○ ボランティア活動者○ 将来、地域経済などに貢献することを目標としていること

あくまでもこれは受け入れる側（上級学校）の推薦基準であって、出身学校（すなわち本校）の推薦基準もクリアしなければなりません。そのためには、高校在籍中の生活態度や日頃の学習成績、出欠状況、部活動での実績、HRや生徒会活動への参加、さらには担任の先生の評価などが総合的に考慮されて推薦候補かどうか判定されます。

※ 本校の進学推薦規定は4「本校における推薦入試規定」に記載されています。

(2) 学校推薦型選抜（指定校推薦）

大学や短大、専門学校等の上級学校が指定した高校だけを対象に実施するものです。言い換えると、「開陽高校から責任を持って一人推薦してください。」という入試制度です。上級学校と高校との信頼関係があってこそその入試でもあるため、校内選考の基準が一般公募制推薦の基準よりも高くなります。本校との信頼関係に関わる制度であり、後輩にも影響がある制度なので、受験の際は慎重に考えること。

(3) 特別推薦

「何か特別な活動成績がある人」対象の試験制度です。例えばスポーツ系の部活動で優勝経験がある人などは、「スポーツ特別推薦」などの入試制度を利用できます。また、文化的活動においても同様の成績を収めた人にもそのような入試制度があります。ただし、このような入試制度は、全ての大学・全ての学科にあるわけではないので、自分の志望校のことを早めにしっかりと調べておく必要があります。

(4) 推薦入試の選考方法

書類選考・小論文・面接などで総合的に判断する。

※ 書類選考に必要な書類：入学願書、推薦書、調査書など

4 本校における推薦入試規定

(1) 推薦入学に関する規定（大学・短大・専門学校）

- ① 推薦入学を希望する者は、必ず所定の手続きをする必要があります。
- ② 推薦入試を希望する者は、希望した学校に合格したときは必ず入学するという本人及び保護者の意思が確認された者でなければなりません。
- ③ 希望する学校の推薦基準を満たし、学業成績が優秀で、人物的にも推薦に値すると認められた者（授業・SHR・清掃への良好な出席，学校推薦に値しうる行動や実績のある者）が応募できます。
- ④ 推薦は、推薦選考委員会の審議を経たのち、すべて校長の承認を得るものとします。
- ⑤ 推薦入試合格以後、調査書は一切発行しません。
- ⑥ 推薦入試合格後、その後の学校生活について、指導を受けます。
- ⑦ 推薦入試合格以後、学校生活等に問題のある者については、推薦を取り消すこともあります。

(2) 推薦入試希望者への注意事項

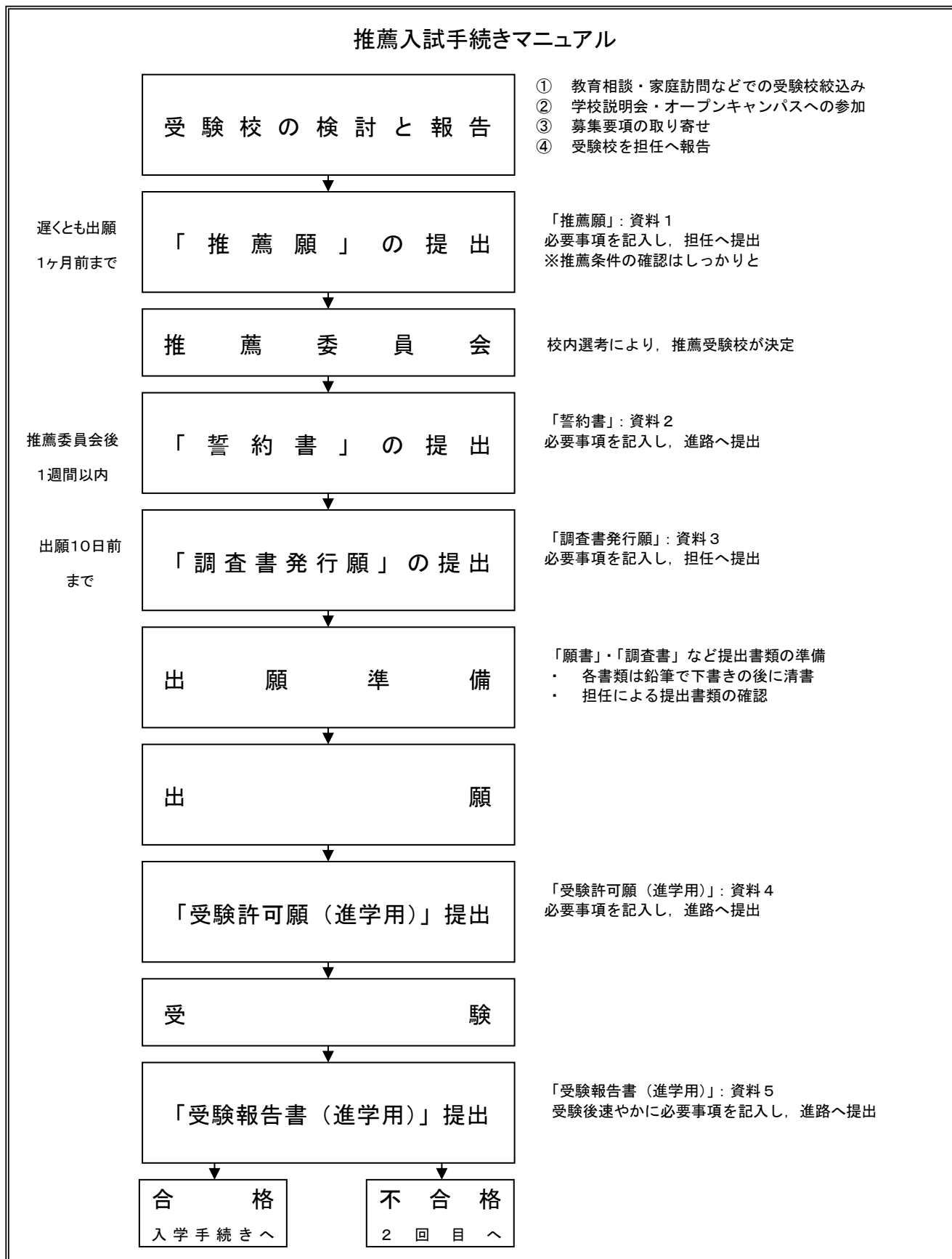
- ① 大学などの指定する段階は各学校によって異なりますが、学習成績の状況（評定平均値）が3.0以上というものがほとんどです。したがって、授業にしっかり出席し、予習・復習にしっかり取り組み、定期考査でも良い成績を修めることが必要です。単に単位を修得するためだけの学習では、届きません。
- ② 生活に規律があり、その時と場をわきまえた行動がとれること。生活指導上の特別指導などは絶対に受けることのないように。
- ③ 普段より服装・頭髪・見出しなみ・礼儀作法に高校生らしい清潔感があること。一夜漬けでは決して身に付きません。
- ④ 面接ではしっかりと自分の考えを述べる事が出来るように、また学校を代表しているとの自覚を持ち、ふさわしい態度で臨むこと。
- ⑤ 願書には公的な資格や特技・趣味などがあることが望ましい。ジュニアの資格，4級以下の資格は記載しません。形だけの趣味も書けません。
- ⑥ 推薦入学後は、開陽高校の名誉と後輩のために、優秀な成績を修め、講義以外の活動にも積極的に参加すること。

【一言メモ】面接の結果も点数化されて合否の重要な資料となります。

かねてから、服装や髪型，言葉遣いなど，気を付けましょう。

- 服 装 ・ ・ ・ 髪型，アクセサリーの有無，マニキュア，ピアス，靴など
- 姿 勢 ・ ・ ・ 落ち着き，目線，手や足の動き
- 言 葉 遣 い ・ ・ ・ 敬語の使い方，発声，言葉の語尾
- 入室・退室のマナー ・ ・ ・ 正しいおじぎの仕方，挨拶
- 表 現 力 ・ ・ ・ 表情，笑顔，明るさ
- 判 断 力 ・ ・ ・ 質問に対する応答が的確かどうか

(3) 推薦入試の流れ



5 総合型選抜入試について

「総合型選抜入試」とは、一般入試とも、推薦入試とも異なり、丁寧な面談や本人が記入したさまざまな書類を通して、受験生の「顔」をよく知ろうとする入試である。「大学と受験生双方の合意により入学を許可する」という考え方がその基本にあり、**独自の個性的な資質や能力を備えた受験生にとっては有利な入試制度**である。文部科学省の資料によると、国公立大学・短大の約4割、私立大学・短大の約8割が総合型選抜入試を実施しているが、総合型選抜入学者が全体に占める割合は、国立大が2.6%、公立大が2.0%、私立大が10.3%、私立短期大が21.2%と、学校推薦型選抜入試ほど定員は多くはない。しかし今後、大学入試改革に伴って、増えることが予想される。

総合型選抜入試の仕組み

総合型選抜入試が他の入試と大きく違うところは、大学側が入学者受入方針（「アドミッションポリシー」と言う）を明らかにし、それに基づいて選抜を行う点である。従って、各大学の学部・学科が「求める学生像」の視点から受験生を評価するので、それに合致しない場合は不合格になる可能性が高くなるとも言える。

総合型選抜入試の主な選考法と日程

総合型選抜入試の選考法は、近年多様化が著しいが、栄美通信社によると、(1)事前対話型、(2)授業参加型、(3)書類・面接型、(4)書類・学科試験・面接型、(5)書類・小論文・面接型、(6)2段階型、(7)書類・実技型の7パターンに分類される。

総合型選抜入試の正規の出願受付開始は8月1日以降と定められているが、(1)事前対話型は5～6月からエントリーシートの受付が開始し、(2)授業参加型は体験授業、体験入学、ワークショップが夏休みの7～8月に開始されるケースが多い。その他の型は、8月・9月の出願が中心で、選考は9月・10月に集中する。

一般的に国公立大学では、(6)2段階型で実施される。また、私立大学では、(3)書類・面接型、(6)2段階型、(5)書類・小論文・面接型、(2)授業参加型の順に多く、私立短期大学では、(1)事前対話型、(3)書類・面接型、(2)授業参加型の順に多い。

	選考法	主な特徴	主な日程
(1)	事前対話型	正規試験前に数回の事前面談・面接を実施。その中でレポート等を取り組む姿勢や基礎学力も見られる。	5～6月エントリーシート受付、 8月1日以降出願
(2)	授業参加型	夏休みの体験授業等を通して、受講態度、意欲、発言、理解度、ノート等を見る。	7～8月体験授業等、 8月1日以降出願
(3)	書類・面接型	書類審査と面接を同時に行う。	8～9月の出願が中心、
(4)	書類・学科試験・面接型	医・薬・理工系で多く、数学・理科・英語が出題。	9～10月に選考が集中。
(5)	書類・小論文・面接型	小論文を通して、学力、適性、表現力を見る。	但し、私立大・短大の中には翌年3月まで実施する所もある。共通テストを課す場合、1月まで時間を要する。
(6)	2段階型	1次で書類審査、2次で面接と同時にプレゼンテーション、小論文、スクーリング（ディスカッション、レポート等を含む）、現場体験、共通テストのいずれかを課す。国公立大や難関私立大に多い。	
(7)	書類・実技型	体育・音楽・美術・造形系で実技力を中心に見る。	

6 大学・短大で取得可能な免許・資格の例

(1) 大学で取得可能な免許・資格など（県内の一部大学）

大学	学部	学科	取得可能な免許・資格等		
鹿 児 島 大 学	法	法政策	中学校教諭一種（社会），高等学校教諭一種（公民）		
	文	人文	中学校教諭一種（国語・英語・社会），学芸員（任用資格）		
			高等学校教諭一種（国語・英語・地理歴史・公民）		
	教 育	学校教育教員養成課程	幼稚園教諭一種，小学校教諭一種，中学校教諭一種，高等学校教諭一種		
		特別支援教育教員養成課程	小学校教諭一種，中学校教諭一種，特別支援学校教諭一種		
	理	数理情報科学	中学校教諭一種（数学），高等学校教諭一種（数学・情報） 測量士補，学芸員（任用資格）		
		物理科学 生命化学	中学校教諭一種（理科），高等学校教諭一種（理科），学芸員（任用資格）		
		地球環境科学	中学校教諭一種（理科），高等学校教諭一種（理科） 測量士補，学芸員（任用資格）		
	医	医	医師国家試験（受験資格）		
		保健	看護師国家試験（受験資格），保健師国家試験（受験資格：人数制限有り） 理学療法士国家試験（受験資格），作業療法士国家試験（受験資格）		
	歯	歯	歯科医師国家試験（受験資格）		
	工	全学科共通	高等学校教諭一種（理科・工業）※ 工業は情報生体システム工学科を除く 技術士補，第一種，第二種衛生管理者（実務期間短縮） 衛生工学衛生管理者（受験資格），安全管理者（実務期間短縮） 第一種，第二種作業環境測定士（実務期間短縮） 廃棄物処理施設技術管理者（実務期間短縮），建設機械施工技士（受験資格） 土木施工管理技士（受験資格），建築施工管理技士（受験資格） 電気工事施工管理技士（受験資格），管工事施工管理技士（受験資格） 造園施工管理技士（受験資格） ※ 指定学科で条件が異なる		
			電気電子工	第二種電気工事士（筆記試験免除），電気主任技術者（試験免除） 電気通信主任技術者（一部試験科目免除），第一級陸上無線技術士（一部試験科目免除） 第一級陸上特殊無線技士（試験免除），第二級海上特殊無線技士（試験免除）	
			建築学	二級建築士（受験資格）	
			環境化学プロセス 工	危険物取扱者（甲種・受験資格），毒物劇物取扱責任者（試験免除） 化学工学修習士（試験免除），化学工学技士（基礎・試験免除）	
			海洋土木工	測量士補	
			情報生体システム工	高等学校教諭一種（情報）	
			化学生命工	危険物取扱者（甲種・受験資格），毒物劇物取扱責任者（試験免除）	
			農	農業生産科学	中学校教諭一種（理科），高等学校教諭一種（農業・理科） 家畜人工授精師（家畜生産学）
				食料生命科学	食品衛生管理者（任用資格），食品衛生監視員（任用資格） 中学校教諭一種（理科），高等学校教諭一種（農業・理科）
				農林環境科学	中学校教諭一種（理科），高等学校教諭一種（農業・工業・理科） 測量士補（森林科学・生産環境工学コース），樹木医補（森林科学コース） 森林情報士2級（森林科学コース），自然再生士補 農業機械士（受験資格：環境システム学コース）
	獣医	獣医師（受験資格），食品衛生管理者（任用資格），食品衛生監視員（任用資格）			
	水産	水産		中学校教諭一種（理科），高等学校教諭一種（水産・理科） 潜水土，小型船舶操縦士，博物館学芸員（任用資格） 食品衛生管理者（任用資格），食品衛生監視員（任用資格） 技術士補（共通科目試験免除），水産業良普及員（受験資格）	
			共同獣医	獣医師（受験資格），家畜人工授精師，環境衛生監視員（任用資格） 食品衛生管理者（任用資格），食品衛生監視員（任用資格）	

大学	学部	学科	取得可能な免許・資格等
志学館大学	人間関係	心理臨床	高等学校教諭一種（公民），司書教諭，日本心理学会認定心理士，福祉心理士
		人間文化	中学校教諭一種（国語・英語・社会），司書教諭 高等学校教諭一種（国語・英語・地理歴史）
	法	法律	中学校教諭一種（社会），高等学校教諭一種（公民），司書教諭
		法ビジネス	下記
	全学部学科共通		社会福祉主事（任用資格），社会教育主事（任用資格），司書，学芸員，社会調査士，日本語教員養成副専攻課程，博物館学芸員
鹿児島国際大学	経済	経済	中学校教諭一種（社会），高等学校教諭一種（地理歴史・公民・商業）
		経営	中学校教諭一種（社会），高等学校教諭一種（地理歴史・公民・商業・情報）
	福祉社会	社会福祉	社会福祉士（受験資格），精神保健福祉士（受験資格） 介護福祉士（受験資格），特別支援学校教諭一種 中学校教諭一種（社会），高等学校教諭一種（福祉・公民） 社会教育主事（任用資格），社会調査士，観光ビジネス実務士
		児童	幼稚園教諭一種，小学校教諭一種，保育士
	国際文化	国際文化	中学校教諭一種（国語・英語），高等学校教諭一種（英語・国語） 博物館学芸員，日本語教員養成課程（副専攻）
		音楽	中学校教諭一種（音楽），高等学校教諭一種（音楽）
		全学部学科共通	

(2) 大学で取得可能な免許・資格など（県内の短大）

短大	学科	専攻	取得可能な免許・資格等
鹿児島県立短期大学	文	日本語日本文学	中学校教諭二種（国語），司書教諭，日商PC検定試験他
		英語英文学	中学校教諭二種（英語），司書教諭
	生活科学	食物栄養	栄養士，栄養教諭二種，管理栄養士国家試験受験資格（※卒業後実務経験3年以上）
		生活科学	中学校教諭二種（家庭），司書教諭，二級建築士 木造建築士（受験資格※卒業後実務経験1～2年） インテリアプランナー登録資格認定（※卒業後実務経験4年） 商業施設士受験資格認定校（在学中取得可）
	商経	経済・経営情報	日商PC検定試験，日商簿記検定，全経簿記検定，法学検定 二種証券外務員資格，社会福祉主事（任用資格）
第二部商経			
鹿児島純心女子短期大学	生活学	生活学 現代ビジネスコース	司書，上級情報処理士，上級秘書士，上級秘書士（メディカル秘書） 上級ビジネス実務士，プレゼンテーション実務士，情報処理士 秘書士，ビジネス実務士，社会福祉主事（任用資格）
		生活学 生活クリエイティブコース	司書，秘書士，プレゼンテーション実務士，社会福祉主事（任用資格） ファッションアドバイザー
		こども学	幼稚園教諭二種，保育士，社会福祉主事（任用資格）
		食物栄養	栄養士，栄養教諭二種，管理栄養士国家試験受験資格（※卒業後実務経験3年以上） フードサイエンティスト，社会福祉主事（任用資格）
英語		中学校教諭二種（英語），上級秘書士（国際秘書），情報処理士 上級情報処理士，社会福祉主事（任用資格）	
鹿児島女子短期大学	児童教育	小・幼・保コース	小学校教諭二種，幼稚園教諭二種，司書教諭，保育士
		幼・保コース	幼稚園教諭二種，保育士
	生活科学	生活科学	養護教諭二種，中学校教諭二種（保健），医療秘書実務士 第一種衛生管理者免許
		生活福祉	介護福祉士（受験資格），レクリエーション・インストラクター 介護保険実務士，福祉メイクセラピスト
		食物栄養学	栄養士，栄養教諭二種，フードスペシャリスト 専門フードスペシャリスト【食品開発】（受験資格） 専門フードスペシャリスト【食品流通・サービス】（受験資格）
	教養		ビジネス実務士，上級ビジネス実務士，上級ビジネス実務士（サービス実務） 秘書士，上級秘書士，上級秘書士（メディカル秘書），情報処理士 ウェブデザイン実務士，司書資格
全学科共通		ピアヘルパー（受験資格），社会福祉主事（任用資格） 日本茶アドバイザー資格認定証	
第一幼児教育短期大学・幼児教育科			幼稚園教諭二種，保育士

7 大学・短期大学の学費等について

大学・短期大学に進学するには多額の費用がかかります。大きく「受験までにかかる費用」，「初年度にかかる費用」，「在学期間にかかる学費・生活費」に分けられます。尚，大学・短期大学の種別，学部・学科毎の種別，自宅生または自宅外生かによって総合的にかかる費用は異なってきますので，下記を参考に「いつ」までに「何に」対して「どのくらい」負担があるかを保護者と十分に話し合った上，進路を決定することが大事です。

- 「受験までにかかる費用」…受験料，願書代などの出願にかかる費用及び県外など遠方で受験する場合の交通費，宿泊費，滞在費など

受験までの費用（全国平均）

検定料・受験料の目安

	国公立大学		私立大学	
	自宅生	下宿生	自宅生	下宿生
受験料・願書代	¥134,000	¥118,200	¥167,300	¥154,100
交通費・宿泊費等	¥65,000	¥108,000	¥61,600	¥106,500
合計	¥199,000	¥226,200	¥228,900	¥260,600

共通テスト（3教科以上）	¥18000～¥18,800
共通テスト（2教科）	¥12000～¥12,800
国公立大学個別試験	¥17,000
私立大学一般入試（1学部）	¥15,000～¥60,000

進研アド調べ

大学生協（全国大生協連）調べ

- 「初年度にかかる費用」…入学初年度に必要な入学金，授業料，入学式出席代，教科書・教材代，パソコン等購入費，住まい探しの費用，生活用品購入費など

入学時の費用（全国平均）

初年度納付金の目安

	国公立大学		私立大学	
	自宅生	下宿生	自宅生	下宿生
入学式出席	¥4,400	¥36,200	¥4,400	¥39,100
教科書・教材・パソコン	¥138,900	¥183,100	¥107,800	¥166,900
住まい探し	—	¥187,300	—	¥229,700
生活用品	¥88,100	¥296,800	¥82,600	¥286,500
その他	¥98,300	¥264,200	¥76,000	¥240,700
合計	¥329,700	¥967,600	¥270,800	¥962,900

	国立大学	私立大学		
		文系	理系	医・歯・薬
入学金	¥282,000	¥246,749	¥265,595	¥1,036,391
授業料	¥535,800	¥742,478	¥1,043,212	¥2,764,631
施設・設備費	—	¥160,019	¥187,236	¥863,538
合計	¥817,800	¥1,149,246	¥1,496,043	¥4,664,560

進研アド調べ（* 文部科学省の調査を基に作成）

※ その他は「引っ越し代，荷物の送料，4月分の生活費，予備の貯金等」
大学生協（全国大生協連）調べ

※ 公立大学は国立大学より入学金が高めで，諸会費等も発生する。（授業料は同額）

例1：北九州市立大学（入学金¥423,000，諸会費等¥136,000）

例2：宮崎公立大学（入学金¥335,000，諸会費等¥70,000）

- 「在学期間にかかる学費・生活費」…授業料，施設設備費の年間にかかる学費，月々の生活費

大学生の1か月の生活費（全国平均）

1年ごとにかかる学費

	収入		支出	
	自宅生	下宿生	自宅生	下宿生
小遣い	¥15,200	¥70,140	/	/
奨学金	¥11,740	¥24,210		
アルバイト	¥32,370	¥25,560		
その他	¥1,810	¥2,270		
収入合計	¥61,120	¥122,170		
食費	/	/	¥12,010	¥24,480
住居費			¥210	¥52,630
交通費			¥9,530	¥3,410
その他			¥36,430	¥36,440
支出合計			¥58,180	¥116,960

大学生協（全国大生協連）調べ

	国立大学	私立大学		
		文系	理系	医・歯・薬
授業料	¥535,800	¥742,478	¥1,043,212	¥2,764,631
施設・設備費	—	¥160,019	¥187,236	¥863,538
年間合計	¥535,800	¥902,497	¥1,230,448	¥3,628,169
4年間合計	¥2,143,200	¥3,609,988	¥4,921,792	¥14,513,476

進研アド調べ（* 文部科学省の調査を基に作成）

- 4年間でかかる進学費用の概算（※上記の資料を基に作成したおおよその概数です。個々で異なるので注意）

	受験（～3月）	入学準備（～4月）	初年度納付金	生活費（1年間）	初年度1年間	4年間
国公立大学自宅生	約20万円	約33万円	約90万円	約70万円	約210万円	約580万円
国公立大学下宿生	約23万円	約97万円		約140万円	約350万円	約930万円
私立大学自宅生	約23万円	約27万円	約130万円	約70万円	約250万円	約780万円
私立大学下宿生	約26万円	約96万円		約140万円	約400万円	約1,140万円

8 専門学校について

(1) はじめに ～専門学校を考えるにあたって～

大学に行くより専門学校に行き何か技術（資格）を身につけようとする人が増えてきており、大学卒業後や、さらには一度社会人となってから専門学校に入学する人もいます。その動機は様々であり、確固たる将来の目標を持って入学する人もいれば、比較的入学が安易なことから気楽に考えて入学する人もいます。しかし、専門学校は職場での即戦力を身につけた人材を育成する目的で、特定の技術・技能を伸ばすための実践的な教育機関です。それゆえ強い意志が必要であり、さらには「専門学校を選ぶ」ことは「職業を選ぶ」ことといえるだけに、慎重な選択も必要になってくるはずです。次の点についてよく考えて欲しいと思います。

- ① 専門学校を卒業したからといって学歴がつくわけではありません。だから、取得した資格に関係ある職場につかない限り役に立ちません。
- ② 企業が望んでいるのは専門技術を身につけた人です。例えば、高卒で就職した人が1～2年働きながら覚えること以上の専門技術を身につけていなければ必要とされません。
- ③ 専門学校はその道のプロ（技術者）を育てることを目的とするため、厳しく学習することが要求されます。学校によっては定期試験が厳しく、試験を前に退学する者も少なくないようです。入学したからには、勉強してプロを目指す覚悟が必要です。
- ④ 就職については、全員が自分の希望する会社や配属先に必ず就職できるわけではないようです。就職先の範囲がかえって狭まり就職しにくくなる場合も出てきます。
- ⑤ 個人のやる気が尊重される分、人によっては大きな力の差が出てしまいます。いずれの場合も最も大切なことは、目的意識を持ち、途中で挫折せずに続けられるかどうかにかかっています。

(2) 専修学校と各種学校

昭和51年以降学校教育法の専修学校制度により、一定の基準を満たしているものも「専修学校」、そうでないものを「各種学校」と呼び、区別しています。両者とも認可を受けた学校です。

さらに専修学校のうち高校卒業者を入学資格として、専門課程を置く学校を「専門学校」と呼んでいます。また、「～専門学院」「～スクール」などの名称を使う学校は、専門学校としての認可を受けていながら、以前からの名称をそのままにしている場合もありますが、都道府県からの認可を受けていないいわゆる“無認可校”の場合もあります。この場合は基準がしっかりしていませんから、確認が必要です。

(3) 資格取得と就職状況について

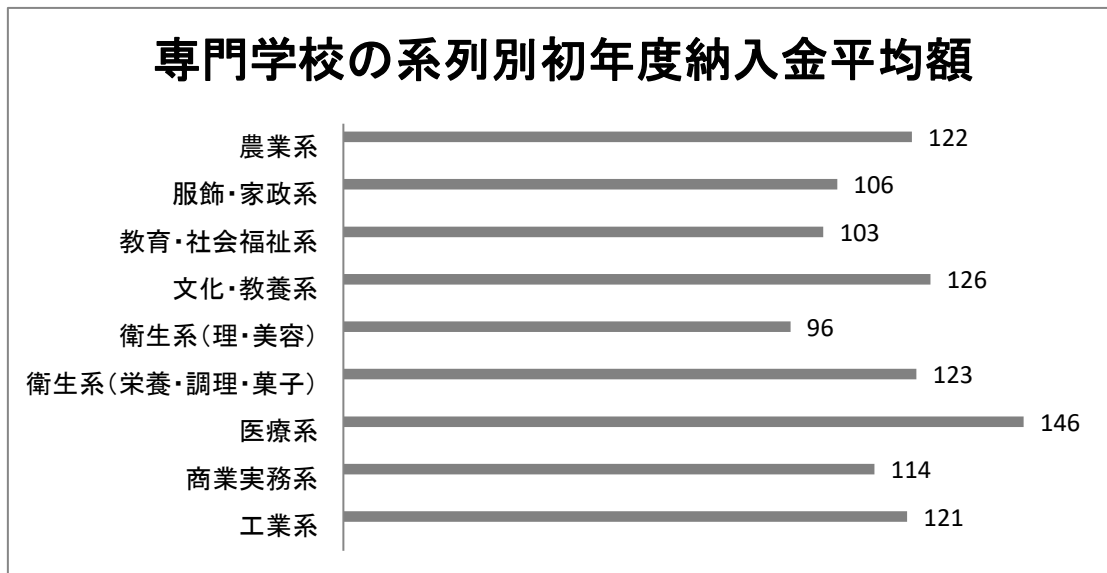
専門学校で得られる資格は大きく次の5つに分けられます。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ① 卒業と同時に無試験で得られるもの | ② 国家試験等の受験資格が得られるもの |
| ③ 国家試験等の受験一部免除となるもの | ④ 個人の努力によるもの（検定試験等） |
| ⑤ その他（実務経験を必要とするものなど） | |

専門学校を選択する際に、このことは重要であり希望する学校でどんな資格が得られるかを十分に調べなければなりません。また、専門学校のパンフレットを見ると就職率が非常に高い場合が多いようですが、必ずしも専門分野への就職とは限りません。情報系を卒業してスーパーの店員になっても就職率にカウントされています。しかし、努力次第で、専門を活かした分野へ就職している人がいるのも確かです。

(4) 学費について

専門学校において、卒業までに必要な学費は2年間で約200万円かかると言われています。一度に納付する金額としては、大学・短期大学同様、入学手続き時の納入金が最も大きく、一般的に「入学金+前期授業料+諸経費」が必要となります。ただし、下記の図のように、専門学校の系列毎に異なります。また、学校によっても金額が異なりますので、各学校の募集要項等でしっかり確認をしましょう。尚、県外の専門学校等、自宅外通学の場合はさらに生活費がプラスされます。14ページの大学・短期大学等の学費の項目を参考に、各家庭で話し合いの上、生活費や諸経費を考慮に入れた進路決定をすることが望ましいです。



参考資料：ライセンスアカデミー「初年度学生納付金平均額（主な専門学校）」

(5) 入学選考について

● 入試形態

専門学校の入試は、おおむね「推薦入試」と「一般入試」により行われています。

「推薦入試」には、学校推薦、自己推薦、指定校推薦などがあり、書類選考・面接による選考が一般的ですが、小論文・実技を課す場合もあります。

「一般入試」は、書類選考・面接による選考が一般的ですが、学科試験を課す学校の割合が推薦入試に比べて高くなっています。

また最近では、「総合型選抜（AO入試）」を取り入れる学校が増えています。入学後、本当に頑張っているかどうかを学力だけでなく熱意・やる気、適性を基準にして審査を行う入試制度です。

その他、高校時代の成績や出席状況など条件を満たせば、入学金や授業料の全額または一部が免除となる「特待生入試」などがあります。

● 出願期間

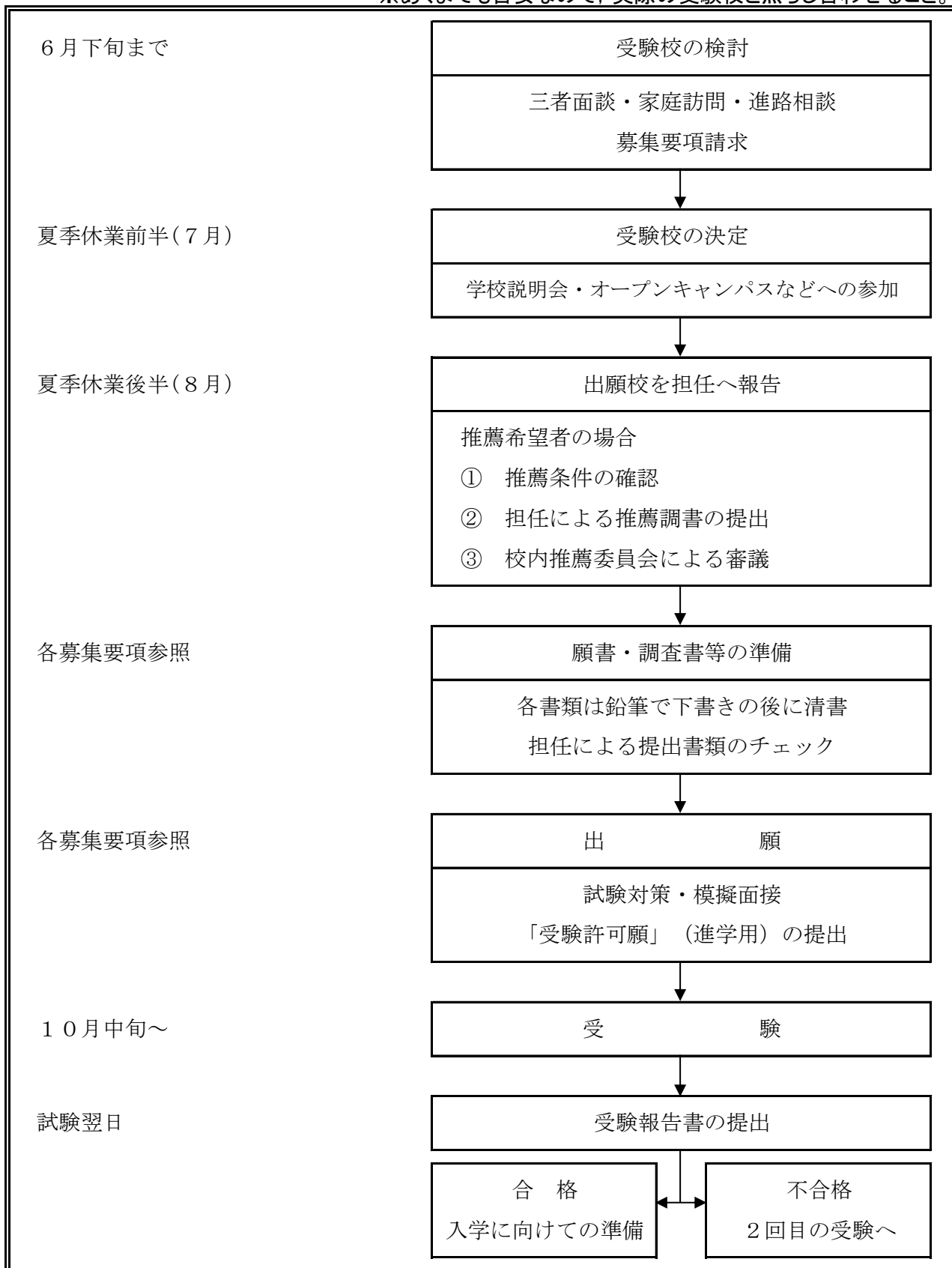
出願期間は、推薦入試の多くが10月1日に開始し、一般入試においては、おおむね3月31日までとなっていますが、そのほとんどは「定員になり次第締め切り」というものです。学校・学科によっては、発表されている出願期間中であっても締切があるので注意が必要です。

● 審査基準

書類選考では、高校での成績はもちろんですが、なによりも出席状況、遅刻・早退の状況を重視する傾向があります。その理由は、密度が濃く、進度が速い専門学校の授業についていけるかどうかを判断するため、日頃から基本的な生活習慣を身に付けましょう。

(6) 専門学校入試の流れについて

※あくまでも目安なので、実際の受験校と照らし合わせること。



9 模試の受け方について

- ① 申し込む前に、目標を立て**決意**を固める。
- ② 過去問題をもろう。
- ③ 過去問題に**取り組む**。(試験時間を意識して取り組む。)
- ④ 過去問題を**訂正**し、インプットする。
- ⑤ 苦手分野を中心に、類題に**取り組む**。(授業教材、過去問題、前回の模試)
- ⑥ 模試を**受験**。(マーク模試については、必ず問題冊子にも自分の選択した解答番号を転記する。)
- ⑦ **自己採点**をする。
- ⑧ その時点で、**自己評価**(目標が達成できたか、実際の試験で実力が発揮できたかなどの点検)をする。
- ⑨ 解答・解説を参考に**解き直し**をする。
- ⑩ その直後に**2回目**の**自己評価**。(何を準備すればよかったか、今後どのように学習するかの方針や方法)
- ⑪ **1週間後**に、自分が解けなかった問題を**解く**。そして自己採点。

【模試の例(進研模試)】 ※受験人数が最も多いと言われている模試。判定の精度は高い。

学年	実施月	形式	模試の趣旨	偏差値の推移	備考
1年	7月	記述	自分の学力の把握、高校生の学習習慣の意識付けに利用	↑ 上げていくことが目標	
1年	11月	記述	1年生後半時点での学力を測定、新たな課題の発見にも利用		
1年	1月	記述	1年間の学習成果を測定、春休みの目標設定に利用		
2年	7月	記述	志望校との学力面の距離を測定、学習の促進に利用	↓ 受験層が狭くなり(確実に進学する集団になり)、上がりづらくなる	
2年	11月	記述	5教科の出題での学力を測定、定着度や学習方針の確認に利用		※志望校受験科目の把握
2年	1月	記述	2年間の学力を総点検、春休みの目標設定に利用		
2年	2月	マーク	本番1年前の共通テスト受験を体験、マークへの慣れに利用	↓ 受験層がもっと狭まる(浪人生も入ってくるため)	※1月とのドッキング判定
3年	4月	記述	受験学年スタート時の学力を測定、課題発見に利用		※浪人生も利用 ※2月とのドッキング判定
3年	6月	マーク (記述)	本格的な共通テスト対策、夏休みの目標設定にも利用 【福祉科の上級学校推薦希望者】 実力判定テストを受験		※4月とのドッキング判定☆上級学校推薦入試必須
3年	7月	記述	志望校の選択、秋以降の受験校の対策方針のために利用	↓ 受験層がそろってくるので、信ぴょう性(判定の精度)は高い。	※6月とのドッキング判定
3年	9月	マーク	判定は志望校の絞り込みに利用		
3年	10月	記述	志望校に必要な記述力の測定		※9月とのドッキング判定
3年	11月	マーク	共通テストへのテストに利用(全国偏差値の確認は最終)		※10月とのドッキング判定

注1) 2年11月記述模試から、5教科の出題に。

注2) 2年1月記述模試から、国・数・英の配点が各200点に。

注3) 英語の選択科目は、必ずリスニングを選択。

注4) ドッキング判定とは、入試において共通テスト(マーク式)と学校独自の個別試験(主に記述式)を実施する場合、それらを合算して、受験先の配点に調整した点数で判定したもの。判定は概ねA~Eの5段階で表示。

(Aから順に、現成績では合格可能性80%以上、60%以上、40%以上、20%以上、20%未満を示す。)

注5) 卒業年次で「〇〇探究」科目を受講する生徒は、2年2月マーク模試を受験。(ただし、「〇〇探究Bは除く」)

注6) 大学、短大(県短二部商経を除く)、医療系専門学校の推薦入試受験希望者は、3年6月マーク模試を受験。

注7) 12月下旬から1月上旬にかけて、共通テストプレテストを実施。(全国採点はありません。)